
ラーメン研究部

ムテキング

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ラーメン研究部

【Nコード】

N8747H

【作者名】

ムテキング

【あらすじ】

ラーメン研究部サツポロラーメン（塩）VSチキンラーメンのお話である。さあREADING

ラーメン研究部 サッポロラーメン（塩）VSチキンラーメン、混ざるとどっちが強いか！！

さっそく、鍋を用意して二つを突っ込んだ。

まずはチキンラーメンが先制攻撃のように独特のおいを発生した。これは勝負は決まったかと思われた。

しかし………あいつは立ち上がった。

「俺を嘗めるなよ！！俺はまだ完全体ではないんだぜ。まだ変身が一回残ってる！」

！

と塩ラーメンは言っている気がした。

「な、何だと！！」

チキンラーメンは驚いているかのようにだった。

塩ラーメンはアイテムを使ってくれと俺にアイコンタクトを送ってきたような気が

した………ので俺は塩ラーメンの袋の中にある粉を鍋に突っ込んだ。

「きたーきたよ。ドーピング完了だ！！」

塩ラーメンはマッチョ声っぽかった。

「反撃開始だ！！覚悟しなコケコッコーーーーーー」

サッポロラーメンの勢力があつというまにチキンラーメンを制圧した。

「悪いなこれが戦争なのよね」
と言っている見たいであった。

「……ちきしょう、こうなったら最終兵器だ、やってくれ。食

う人よ」

パチン

チキンラーメンの面が飛び跳ねた。

俺はこのタイミングか、すかさず卵を入れた。

「これぞ力、これぞ帝王、これぞ我が人生全盛期の瞬間だ。」

チキンと卵それはまさに究極のマツチング、その神々しさはまさに千手観音。

「……さよならだ。塩ラーメン」

チキンラーメンは勝利を確信した瞬間であった。

「……チキンラーメンよ。もう勝利の余韻かい？まだ決着がついてない

のにな」

「……何！！塩ラーメン、き、貴様！！」

「知ってたか？パワーアップしたのはお前だけではないということ
を」

塩ラーメンは言っているようだった。

そう、まさにその通りであった。究極のマツチングともいえるチキンと卵に対して

塩ラーメンもアルティメットマツチングをしていた。

これぞ卵の神秘である。

「だからどうした、まだ五分五分ではないか」

チキンは言っているかのようだった。

「ふっ、あんた麺がすすけてるぜ」

塩ラーメンはまるでタバコをくわえながら話していた。

そう、その声はまるで赤い彗星の如く。

「な、なんだと」

チキンラーメンは驚きを隠しきれない絶妙な声で叫んでいるかのようであった。

「ふつ、これで終わりだ・・・」

「な、ぬわにい！！！！俺の負けだと・・・でも言いたいのか！！」

「ああ、お前は俺を怒らせた」

「意味わかんねえ」

「お前はもう伸びている」

「エーーーーーーー」

衝撃の瞬間であった。

それは土手で傘を差しながら雷に打たれたショックの出来事であった。

なんという命中率、それはLOT6が当たる確立である。

だがチキンラーメンも重要な事に気づいていた。

「おい、っていうか！それはお前もじゃん」

と言っているように見えた。

「まじ！？」

と答えてるように聞こえた。

「うん、まじ」

「まじ、本気と書いてまじ」

「いや、それは違うよ。それはほんきだろ」

「まじ」

「ああ、まじだ。自分の麺をってみろ」

恐る恐る塩ラーメンは自分の麺を試してみた。

・・・

・・・

・・・

・・・

・・・

「ぎゃーーーーー、俺の、俺の体がーーーーー・・・」

・・・

「・・・溶けちゃった」

卵は思った。

「こいつは結構余裕だなと」

そして時間が過ぎた。

遥か長い時間が過ぎていた。

「・・・つわものどもの夢の後」

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8747h/>

ラーメン研究部

2010年11月13日14時32分発行